



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッチツ

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬 靖夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼管理本部総務部長 (氏名) 松井 慎一

TEL 03-5561-6200

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,873	△5.7	415	13.5	485	29.6	324	35.6
28年3月期第3四半期	7,290	1.0	366	14.6	374	△28.3	239	△30.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 426百万円 (131.3%) 28年3月期第3四半期 184百万円 (△63.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	15.29	—
28年3月期第3四半期	11.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	16,378	11,626	71.0	546.97
28年3月期	16,213	11,326	69.9	532.89

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,626百万円 28年3月期 11,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年3月期	—	3.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	2.2	590	35.6	610	42.7	400	172.1	18.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	21,300,000 株	28年3月期	21,300,000 株
29年3月期3Q	44,401 株	28年3月期	44,291 株
29年3月期3Q	21,255,698 株	28年3月期3Q	21,256,396 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2～3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、機械関連については、船用機器の需要は、国内造船所における過年度までの豊富な受注残の下支えがあるものの、新造船の新規受注低迷の影響を受け弱含みに推移いたしました。資源関連については、住宅関連資材向け需要並びに、半導体、情報通信関連分野の需要とも、弱含みに推移いたしました。賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率は低下基調にあります。

上述の如き環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は68億7千3百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は資源関連事業の採算改善により4億1千5百万円（同13.5%増）となりました。また、営業外損益において中国合弁会社の業績向上による持分法投資利益の増加から、経常利益は4億8千5百万円（同29.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千4百万円（同35.6%増）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

①機械関連事業

船用機器については、売上は新造船の新規受注の低迷を受けての造船所の建造ペースの減速の影響等により減少いたしました。受注は翌期以降にかかるハッチカバー案件の成約が進んだことからやや増加いたしました。産業機器については、売上は一部重電関連機器の納期が第4四半期にずれ込んだことからやや減少いたしました。受注は重電関連の需要は堅調に推移したものの、製鉄関連の需要減速により、減少いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は48億2千3百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は4億2千8百万円（同5.3%減）となりました。

②資源関連事業

結晶質石灰石部門の売上は、住宅関連資材向け需要が弱含みに推移するとともに、工事関連商品の需要も低調であったことから、減少いたしました。半導体封止材などの原料を生産しているハイシリカ（精製珪石粉等）部門の売上も、半導体関連の需要が回復傾向を示したものの、光学関連及び電子材料関連の需要が減速し減少いたしました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は14億5千8百万円（前年同期比10.8%減）となりましたが、ハイシリカ部門における前期末減損損失計上に伴う減価償却費の減少や原料ソースの多様化等による輸入原石費の低減等もあり、営業損失は5千7百万円（前年同期は営業損失1億8千2百万円）となりました。

③不動産関連事業

新規テナント入居により、稼働率が改善したこと等から、売上高は9千8百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益は3千6百万円（同32.3%増）となりました。

④素材関連事業

耐熱塗料の売上は、設備用に加え、OA機器向け輸出仕様品等工業用も低調に推移し減少いたしました。また、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連の売上も、セメント業界向け大口案件の一巡で減少し、この結果、素材関連事業全体では、売上高は4億9千3百万円（前年同期比20.4%減）、営業利益は1百万円（同97.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、163億7千8百万円となり、前連結会計年度末比1億6千4百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少、投資その他の資産のその他に含まれている出資金の減少がある一方、受取手形及び売掛金の増加、投資有価証券の増加があったこと等によるものであります。負債合計は47億5千1百万円となり、前連結会計年度末比1億3千4百万円減少いたしました。これは、固定負債のその他に含まれている繰延税金負債の増加がある一方、賞与引当金の減少、流動負債のその他に含まれている未払費用の減少、有利子負債の減少があったこと等によるものであります。純資産合計は116億2千6百万円となり、前連結会計年度末比2億9千9百万円増加いたしました。これは、為替換算調整勘定の減少がある一方、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は71.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました内容を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,849,576	3,696,294
受取手形及び売掛金	2,610,043	2,870,493
電子記録債権	277,376	195,395
商品及び製品	224,355	249,876
仕掛品	805,054	786,241
原材料及び貯蔵品	445,044	487,629
その他	431,778	454,005
貸倒引当金	△7,166	△1,632
流動資産合計	8,636,063	8,738,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,247,026	2,175,482
機械装置及び運搬具(純額)	652,052	572,041
土地	2,405,737	2,405,594
その他(純額)	50,162	139,474
有形固定資産合計	5,354,979	5,292,593
無形固定資産	19,018	20,951
投資その他の資産		
投資有価証券	1,403,623	1,717,626
その他	802,772	611,713
貸倒引当金	△3,255	△3,043
投資その他の資産合計	2,203,140	2,326,296
固定資産合計	7,577,138	7,639,841
資産合計	16,213,201	16,378,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	854,959	803,079
短期借入金	1,379,584	1,385,104
未払法人税等	68,042	84,575
賞与引当金	98,970	23,234
役員賞与引当金	11,500	8,625
受注損失引当金	20,119	3,249
その他	900,285	834,807
流動負債合計	3,333,461	3,142,675
固定負債		
長期借入金	241,338	160,273
役員退職慰労引当金	112,200	128,255
環境安全対策引当金	38,149	38,149
退職給付に係る負債	691,820	703,349
資産除去債務	55,745	56,053
その他	413,592	523,140
固定負債合計	1,552,845	1,609,222
負債合計	4,886,306	4,751,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	9,016,032	9,213,424
自己株式	△10,588	△10,610
株主資本合計	10,916,701	11,114,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259,853	479,474
繰延ヘッジ損益	△1,379	5,229
為替換算調整勘定	175,900	49,367
退職給付に係る調整累計額	△24,181	△21,893
その他の包括利益累計額合計	410,192	512,177
純資産合計	11,326,894	11,626,248
負債純資産合計	16,213,201	16,378,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,290,973	6,873,605
売上原価	5,994,494	5,525,523
売上総利益	1,296,478	1,348,081
販売費及び一般管理費	930,320	932,503
営業利益	366,158	415,578
営業外収益		
受取利息	1,392	797
受取配当金	40,970	39,534
持分法による投資利益	—	56,320
その他	38,912	31,410
営業外収益合計	81,274	128,062
営業外費用		
支払利息	10,562	8,451
持分法による投資損失	16,109	—
休廃止鉱山管理費	33,318	41,857
その他	13,217	8,189
営業外費用合計	73,207	58,498
経常利益	374,226	485,142
特別利益		
固定資産売却益	6,469	490
関係会社出資金売却益	—	8,741
受取保険金	52,654	—
特別利益合計	59,123	9,232
特別損失		
固定資産処分損	11,130	765
固定資産圧縮損	39,086	—
減損損失	1,791	—
その他	5,550	—
特別損失合計	57,558	765
税金等調整前四半期純利益	375,791	493,609
法人税、住民税及び事業税	79,864	133,134
法人税等調整額	56,384	35,549
法人税等合計	136,248	168,683
四半期純利益	239,542	324,925
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,542	324,925

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	239,542	324,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,671	219,621
繰延ヘッジ損益	△473	6,608
退職給付に係る調整額	1,319	2,287
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,123	△126,532
その他の包括利益合計	△54,949	101,984
四半期包括利益	184,593	426,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,593	426,910
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,953,512	1,634,561	83,652	619,246	7,290,973	—	7,290,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	213	—	9,853	10,066	△10,066	—
計	4,953,512	1,634,774	83,652	629,100	7,301,040	△10,066	7,290,973
セグメント利益又は損 失 (△)	452,238	△182,846	27,457	70,706	367,555	△1,396	366,158

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去540千円、全社費用△1,936千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,823,315	1,458,425	98,761	493,102	6,873,605	—	6,873,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	225	—	4,534	4,759	△4,759	—
計	4,823,315	1,458,650	98,761	497,636	6,878,364	△4,759	6,873,605
セグメント利益又は損 失 (△)	428,380	△57,423	36,317	1,805	409,079	6,499	415,578

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去7,740千円、全社費用△1,240千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。